



TITLE:

静脩 Vol. 54 No. 1(2017.4)[全文]

AUTHOR(S):

---

CITATION:

静脩 Vol. 54 No. 1(2017.4)[全文]. 静脩 2017, 54(1)

ISSUE DATE:

2017-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/218709>

RIGHT:

# 静学備

SEI-SHU

## Learning Support Desk for International Students

日本語もOK!!  
学習サポートデスク

**LOCATION** 1st floor of the Main Library,  
inside the Learning Commons  
**HOURS** Weekdays, 13:00-19:00  
**Service** Graduate student staff support  
your learning. When you have  
any question or problem, please  
feel free to ask us!

Student Staff	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
13:00	Language * French フランス語	Language * French フランス語	Monitors モニター	Language * Mandarin 中国語	Language * Hindi インド語
16:00	Information Relations 国際関係	Information Relations 国際関係	Information Science 情報学	Comparative Literature 比較文学	Linguistics 言語学
18:00	Language * Urdu ウルドゥ語	Language * Urdu ウルドゥ語	Language * Urdu ウルドゥ語	Language * Urdu ウルドゥ語	Language * Urdu ウルドゥ語
19:00	Linguistics 言語学	Area Study 地域研究	Information Science 情報学	Area Study 地域研究	Information Science 情報学

特集

## 新入生のためのレポート作成入門

### CONTENTS

- 02 : 新入生のためのレポート作成入門
- 05 : 一冊の本
- 06 : 京都大学図書館・室の SNS 紹介
- 08 : 図書館・室からのお知らせ





新入生みなさん、京都大学へようこそ！新しい生活や授業にも少しずつ慣れてこられたころでしょうか。本号では、大学生活と切り離せないレポート作成について特集いたします。あなたの最初のレポートを、京都大学の図書館・室が提供する様々なサービスがお手伝いしますので、どうぞご活用ください。

## 附属図書館

大学では、多くの授業でレポートを書くことになります。附属図書館は、そんなレポートを書く時に役立つ空間・資料・スタッフが充実しているので、ぜひ使いこなしてください！

### 【ラーニング・コモンズ】

附属図書館の一階にある人気の場所で、「ラーコモ」という略称によって、多くの学生から親しまれています。ここでは、ホワイトボードを使ってグループで自由にディスカッションをして、レポートのテーマについてアイデアを出し合ったり、考えを整理したりすることができます。レポート執筆に役立つ本も多数配置してあります。また、プロジェ

クタやスクリーンもあるので、プレゼンテーションの練習にもってこいの場所です。

### 【学習サポートデスク】

「ラーコモ」の中にあるデスクで、平日の 13:00 から 19:00 の間、フレンドリーな大学院生が勉強について、気軽に相談に乗ってくれます。デスクスタッフの先輩は、日本語・英語が話せるバイリンガ

ルで、他にも中国語・フランス語・ドイツ語等、三つ目、四つ目の言語が話せるスタッフもいます。日頃、学生のみさんから「統計資料をレポートでどのように活用すれば良いか教えてほしい」「英語での面接の相手役をしてほしい」「卒論の構成についてアドバイスを欲しい」など、いろいろな相談が寄せられます。留学生の方の利用も多いです。みな



さんのご都合の良い時間を予約して相談することもできるので便利です。デスクスタッフたちも、「この仕事は、学生のみなさんの相談にのることで自分も成長できるので楽しい！」と言ってイキイキと取り組んでくれています。より完成度の高いレポートの作成を目指して、積極にご活用ください。また Facebook でオススメの本の紹介などもしているので、そちらもチェックしてください。

### 【図書館実施の各種講習会】

普段調べたいことがある時、Google や Yahoo でキーワードを検索して、表示される web ページの情報を利用していませんか？レポートのために調べものをする時は、情報源の確かさも求められるため、これだけでは本当に重要な情報が漏れてしまい、出来の悪



いレポートになってしまいます。京都大学の図書館は、レポートを書く際に有益な、質の高い学術情報だけを効率的に入手できるデータベース等を学生のみなさんのために多数取り揃えています。京大生だから使えるこれらのツールを利用しないのは

勿体ないです。また図書館では専門知識を持った職員が、これらのツールの講習会を定期的に開催していますので、図書館の web サイトや館内のポスター等をチェックして、ぜひご参加ください。

## 吉田南総合図書館

多くの新生にとって、図書館や図書室は自習をする、あるいは読んでみたい本（多くは小説でしょうか）を借りるところ、というイメージが強い施設だと思います。しかし大学生になると学びのスタイルが高校生とは全く変わります。その一つに、全学共通科目などの授業や演習で、一定の課題に沿って資料を集め「レポート」にまとめる課題を先生から課されることが多くあります。したがって高校までの授業で「レポート」の提出を求められた経験のない方は戸惑われることと思います。

吉田南総合図書館では、全学共通科目ではじめて「レポート」に

直面したみなさんのために、レポートのネタ集めや書き方を教えてくれる本を揃えたコーナーを設けたり、あるいはレポート作成に役立つ講習会の開催を通じて、みなさんをサポートしています。

【レポートお助け本を集めました：「論文・レポート関連図書」コーナー】

「レポート提出の課題が出たけれど、何をすればよいのかわからない」といった悩みを持つ方のために、吉田南総合図書館では、1階選書コーナーに「論文・レポート関連図書」コーナーを設置しています。

レポートは単なる「感想文」



とは違います。課題で問われていることを抽出し、材料を集めて、事実を基に一定の書式に沿って文章や図表（場合によってはそれ以外の形式）にまとめることが求められます。

「論文・レポート関連図書」コーナーには、レポートを作成するにあたり必要となる情報の収集と整理、レポートの執筆、図表やプレゼンテーションのま



とめ方や、本や論文からコピー・盗用しない、引用したら「引用文献リスト」に載せる、といったレポート作成時に求められるルールを取り上げた図書を、1 か所に集めて置いています。必要に応じて借り出しができるほか、全学共通科目を履修しているみなさんは、図書館に置いて欲しい本のリクエストもできます（学生購入希望資料制度）。欲しい本が見つからなかったら、ぜひ購入希望を出してください。

【調べ方のご相談に応じます：

調査・相談カウンター】

「先生からレポートの提出を指示されているけれども、必要な資料をどうやってさがしてよいかわからない」「調べ方の本を読んだけれど、もう一つ内容をイメージできない」といった経験を、多くの新入生が感じることを思います。

吉田南総合図書館では、そのような相談をお引き受けする図書館職員が、平日の 9 時から 17 時まで「調査・相談カウンター」に常



駐しています。「何が解らないのか解らない」ので人に聞きづらい、と感じる方もいると思いますが、経験豊富で調べもののプロである図書館職員が、その「解らない」を解きほぐすお手伝いをします。

【調べ方のコツを伝授します：

15 分講習会】

「レポートの文献収集に役立つという、「サイニィ」や「アイエルエル」なるものがあると聞いたけれど、一体どのようなものか」。ご安心ください。吉田南総合図書館ではレポートや論文執筆に役立

つ「CiNii」（サイニィ）や「ILL」（アイエルエル）を授業の休み時間の 15 分で紹介する「15 分講習会」を開催しています。

「どのようなことを聞けるのか」それは参加して是非体験してください。わからないことがあっても、講習会を終えてから講師の図書館職員にマン・ツー・マンで相談することができます。2017 年度の予定は、図書館機構や吉田南総合図書館のウェブサイト、または吉田南総合図書館の Twitter (@yoshidasouthlib) でお知らせします。



## 文学研究科図書館

文学研究科図書館では、レポート作成に役立つ図書に対し、『レポート、論文、卒論の書き方』というタグを付与しています。タグを付与したことにより、蔵書検索システム KULINE のキーワード欄に『レポート 書き方』と入力するだけで関連する図書がヒットするようになっています。

飯吉 透（理事補／高等教育研究開発推進センター長・教授）

2011年3月11日に東日本大震災が起こった時、みなさんは何処で何をしていただろうか。当時、アメリカのボストン近郊に住んでいた私は、地震発生から4時間ほどが過ぎた米国東部時間の早朝に、ネットでこのニュースを知った。驚いて寝間着のまま居間のある二階に駆け上がり、ケーブルテレビで同時中継されていたNHKの報道を通じ、地震や津波による驚愕すべき被害を目の当たりにした。

夥しい数の尊い命、家族、友人、住居やコミュニティーが失われ、自然の力による凄惨な破壊と混乱の情景が繰り広げられる中で、福島第一原子力発電所の大事故が発生した。異国の地からテレビやネットを通して、事態の推移と事故への対応を、私は家族と一緒に祈るような気持ちで見守り続けた。

その年、私は20年間近く学び働き暮らし永住権も取っていたアメリカから日本に戻ることを決意し、年明けに本学に着任した。最大の理由は、この震災と原発事故への対応や復興の過程で、グローバル化した世界における日本社会の脆弱性や課題が浮き彫りにされ、「組織や個々人のあり方が、根本的に変わらなければならない」と痛感したことだ。素晴らしい学問的伝統文化と実績を誇る京都大学に身を置きながら、自分は教育研究や社会活動を通じて、未来を担う人育てや社会の変革に貢献しようと考えた。

医学者であり日本学術会議会長も務められた黒川清氏によって著された本書が衝撃的なのは、国会福島原発事故調査委員会の委員長の重責を担われた同氏によって、原発事故調査の内幕が赤裸々に描かれているからだけではなく、原発事故やその対応の過程を通じて露呈された現在の日本が抱える様々な問題や弱点が明晰に告発され、警鐘が鳴らされているからだ。

「規制の虜」とは、本来「政府の規制機関が規制される側の勢力に取り込まれ、支配されてしまう状況」を指す経済用語であるという。原発事故に関係した日本の各界のリーダーたちによって多くの「不都合な真実」が隠蔽された、と黒川氏は述べている。それらが具体的にどのようなことであったかは、まるでドキュメンタリー映画を観ているかのような生々しさと共に、本書を通じて描かれている。それを食るように読みながら、私は、かつて日本の外側から見ていた時に、漠然と奇妙に感じ理解し難かった日本の「からくり」や本質的な問題が、目の前に鮮明に立ち現れてきたような気がした。

「同調圧力」に屈してはいけない、と黒川氏は訴える。同調圧力とは、「集団の中で意志決定を行う際に、少数意見の人たちに対して多数意見に合わせるよう、暗黙のうちに強制すること」であり、その「同調圧力」に支配された「日本のエスタブリッシュメントの甘さ」が世界中に露呈されたことで、日本の信用は一気に低下した、と黒川氏は憂う。

本書を通じて、「先の見えないグローバル世界と、それにもかかわらずなかなか変わらない日本の中で生き、将来を担う若者たちの思考と行動が、少しでも変わるきっかけとなってくれば、筆者にとって望外の喜びである」と、黒川氏は「あとがき」で述べている。本学の若い学生や研究者のみなさんには勿論だが、大学人として社会から隠遁しがちな教職員のみなさんにも、是非この震驚の書を読んでいただき、これからの日本や世界を担うリーダーはどうあるべきか、またそのようなリーダーをどう育てるべきか、について考え行動する糧にしていいただければ、と願って止まない。

—図書の情報—

“規制の虜：グルーピングが日本を滅ぼす”  
黒川清・  
講談社、2016.

—所蔵図書館・室—

附属図書館  
2階 開架 DL|213||キ3



# 京都大学図書館・室の SNS とマスコットたち

京都大学には約 50 カ所の図書館・室があり、それぞれウェブページなどで利用方法をご案内しています。中にはマスコットがいる図書館や Twitter や Facebook などの SNS で最新の情報をお伝えしている図書館があります。ここでは、マスコットや SNS をご紹介します。

## 附属図書館

附属図書館のマスコットキャラクターは、「クラちゃん」と「インちゃん」です。



京都大学の蔵書検索は「KULINE」（クライン）といいます。なんだか似た名前ですね。さて、「クラちゃん」はクラインの壺の形。浮遊して移動しますが、いつもはインちゃんの頭の上にあります。「インちゃん」は図書館に住む本好きの妖精。持っている本『KURENAI』には、京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」の中味が詰まっているとか。また、二人は京大の蔵書すべてを読んでいるそうですので、700 万冊近い本を読んでいることに・・・。

附属図書館のイベントに参加すると、そんなクラちゃんとインちゃんのグッズを入手できるかもしれません。スタンプラリーや館内ツアーがあるときには、ぜひご参加ください。

二人についてもっと知りたい方は、次のウェブページをご覧ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/about/character>

特集ページでご案内した附属図書館の学習サポートデスクでは、デスクの大学院生スタッフが Facebook で情報を発信しています。例えば、附属図書館からのお知らせのほか、ラーニング・コモンズで開催されるワークショップなどのイベントの案内、そして、ラーニング・コモンズに置かれているレポート作成や発表にお役立ちの本の紹介など。また、留学生の皆さんにも読んでもらえるような記事も英語併記です。

また、Twitter の @ku\_tansaku は、図書館機構による全学共通科目「大学図書館の活用と情報探索」の受講者向けに授業情報をお伝えするアカウント。どのような授業かはアカウントのタイムラインをご覧ください。そして、@KURENAI\_update は、京都大学の研究者の論文や大学刊行物

が掲載される「KURENAI」の最新情報を発信しています。先生方の論文など、最新の研究成果へアクセスすることができますので、フォローしてみてください。



@learningsupportdesk

<https://www.facebook.com/learningsupportdesk/>



@ku\_tansaku

[https://twitter.com/ku\\_tansaku](https://twitter.com/ku_tansaku)

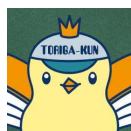


@KURENAI\_update

[https://twitter.com/KURENAI\\_update](https://twitter.com/KURENAI_update)

## 理学部中央図書室

理学部中央図書室のマスコットキャラクターは「トリガーくん」。



本を羽にして理学や学内へいろんなメッセージを届ける大使です。最初は 2 次元世界だけで生きていたのですが、理学のみなさまに愛され、ある方がぬいぐるみを作ってくださいました。それから今までずっと、図書室の入口で皆さまをお迎えしています。2012 年 10 月から Twitter を始め、3 月 15 日現在、1,465 件のフォロワー数！これもみなさまのおかげです。

毎日 1 ツイートを目指して、3 名の職員が協力しながら日々話題を探しています。時には苦し紛れに無理やり関連トピックを捻り出すことも。その中での一押しは理学の「研究成果」。教員や学生の研究成果を報告する際は、つぶやく側の嬉しさもひとしおです（内容を完全に理解できないのが残念ですが）。ご覧くださる方のお顔はわかりませんが、忘れ物の写真を掲載するや否や取りに来られた方もいたりして、定期的に見ていただいていることを実感し、感激が湧く瞬間もあります。また、こちらの遊び心が伝わった時も喜びのひとつ

ときです。

担当後 2 年間続けてきて感じることは、つぶやく人間の性格や気質により「つぶやき方」が違う、ということ。まっすぐ王道を行く人、斜めから見人。物の見方はそれぞれの内面を反映するもので、受け取られる方の気持ちに響くものも、また違うのだと思います。そこが伝える醍醐味とも言えるのかもしれません。



@kuscilib



<https://twitter.com/kuscilib>



## 農学部図書室

ピエール「Bonjour! 僕、京都大学農学部図書室宣伝部長のピエールです。京都の深泥池からやってきました」

シャモーネ「ちょっと、なんで私より先に挨拶してるのよ。それに Bonjour って私のセリフなのに勝手にとらないでよ」

ピエール「そんなこと言ってるならみんなに嫌われちゃうよ。みなさん、改めましてこちらは ...」

シャモーネ「私は、フランスのシャモーネという町から流れ流れて、今は農学部図書室で暮らしているシャモーネよ。ピヨネとピョートルっていう双子の子どもがいるの」

ピエール「彼女は見た目も中身もおっかないんだけど、その怖さがクセになるって感じなんだよね。ホラー映画を見たり、お化け屋敷に入ったりするのと同じ心理かな。決して、軍鶏（シャモ）に似てるからシャモーネっていう名前がつけられたわけじゃないよ」

シャモーネ「何勝手なこと言ってるのよ。あんただって、身体の表面も話してる内容もツルツルの蛙じゃ

ない。Facebook でもいつもスベってるのよ」

ピエール「ほんとには面白いと思っているくせに一。ところで、今日は僕たちに農学部図書室の Facebook を紹介してほしいっていう依頼がきてるんだ。Facebook では、京都大学や農学に関連する話題を発信しているよ。大学の専門図書室という立場上、話題も難しくなりがちだけど、できるだけわかりやすく伝えるようにしているんだ」

シャモーネ「農学部図書室ならではの活動として、研究室へ取材に行くこともあるのよ。植物栄養学の先生から大学構内やフランスに作った農園の話（2015/11/27・2016/12/16）をうかがったのが楽しかったわ」

ピエール「農学部の先生の研究成果もできるだけ記事にできるようにして、例えば柿の雌雄決定（2014/11/07）やマメ科の主従逆転現象（2016/06/24）に関する研究を取り上げたね」

シャモーネ「これを読んだ学生さんが農学部で行われている研究に興味を持って、進路選択の参考に



してくれたら、こんなに嬉しいことはないわ」

ピエール「記事で取り上げた本がすぐに貸し出された時も、興味を持ってもらえたのかなって嬉しくなるね」

シャモーネ「Facebook では、図書室関連の案内にとどまらず、農学に関する話題を幅広く扱っているわ。多くの人に農学について興味を持ってもらう事を目指しているから、農学部の方はもちろん他の学部の方々ものぞいてみてちょうだいね」



@agrilibku

<https://www.facebook.com/agrilibku>



## 吉田南総合図書館



ほかに  
こちらの図書館も  
つぶやいております。  
ぜひ一度ご覧ください。



@yoshidasouthlib



<https://twitter.com/yoshidasouthlib>

## 文学研究科図書館



@kyodai\_letlib



[https://twitter.com/kyodai\\_letlib](https://twitter.com/kyodai_letlib)





## 図書館・室からのお知らせ

### ■「京大図書館 MAP」で巡る 図書館機構スタンプラリー “Library Walk” 開催中（～5/12）

5 個以上スタンプを集めると、ゴール地点でもれなく図書館グッズをプレゼントします。スタンプシートにもなっている「京大図書館 MAP」は、吉田地区の図書館・室の場所と利用方法が一目で分かります。各図書館・室で配布していますので、どうぞご利用ください。学部新入生の皆さんには、ガイダンスで配布されています。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1374482>

### ■図書館の講習会・イベント情報のご案内

京都大学の図書館・室が開催する図書館活用法などの講習会や各種イベントの情報は、次のウェブページから確認できます。また、毎月の開催情報をまとめたパンフレットもダウンロードできますので、ご利用ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/support/12304>



### ■附属図書館のウェブサイトが新しくなりました

リニューアルに伴い URL が変更されています。必要な情報が探しやすくなりましたので、ご利用ください。

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/>



### ■MyKULINE のデータは、進学などで身分が変わると引き継がれません

利用状況一覧、マイフォルダ、新着アラートの各機能のデータは引き継がれません。大学院に進学する、学生から職員になるなどでご身分が変更になる方（学生証、職員証、図書館利用証が再発行となる方も含む）は、現身分の有効期限内に各自でバックアップをお願いします。詳しくは次のご案内をご覧ください。 <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/bulletin/1374425>



京都大学図書館機構報「静脩」（ISSN 0582-4478）

Vol. 54 No. 1（通巻 193 号） 2017 年 4 月 1 日発行

編集：「静脩」編集小委員会（責任者：附属図書館事務部長）

発行：京都大学図書館機構

京都府京都市左京区吉田本町 36-1

TEL 075-753-2613

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

表紙題字：附属図書館所蔵 西園寺公望公揮毫

### 今月の表紙

附属図書館ラーニング・ commons の学習サポートデスク。たくさんの学生さんでにぎわう場所ですが、時にはこんな風に、図書館に住む「何か」も様子を見に来ているかもしれません。わ、あなたのすぐ近くにも！

